

## 識者談話・山野良一 沖繩大教授



3年をかけて小中、高校と調査を続けて、乳幼児の親も、とても深刻だと分かった。県外ではまだ「沖繩は低賃金でもスローライフ」といったイメージがあるが、実際には1歳児という早い時期から母親も働か

なければ生活できず、父親は長時間労働で子どもと関わる時間もない。頑張っ

## 社会全体で家族支えて

も貧困から抜け出せない厳しさがよく表れた。

親は共働きが多く、祖母も働いていて、多くの人は保育所を利用せざるを得ない。しかし待機児童が多い中、低所得層は認可園に

入所しにくいことも分かった。入所の優先順を決める点数が結果的に低くなっているとみられるが、問題の本丸は希望する全員が入所できないこと。沖繩の歴史

など対策をしなければ社会的なネグレクトになってしまう。貧困は親だけの問題ではない。県レベルでの貧困対策は沖繩は全国でも進んでいる。市町村の事業も後押しして多面的な支援を行い、社会全体で家族を支えてほしい。(児童福祉)

的な児童福祉の遅れの影響は大きい。保育所に入れないうことで、親が働き、子どもが学ぶ機会が奪われるのは学童保育も同じだ。親は入学前から学童を諦めている傾向がある。保育料低減